

シリーズ 病気のお話し〈12〉

虚血性心疾患のカテーテル治療 循環器科部長 坂井 英世 先生

人の生命は心臓が動くことで保たれています。心臓が動くためには酸素・栄養素（主に脂肪酸です）が必要で、それらを心臓に送っている血管を冠動脈といいますが、その冠動脈の内腔が狭窄・閉塞し、心臓に十分な酸素・栄養を供給出来なくなる病気を虚血性心疾患と総称します。大きく狭心症と心筋梗塞に分けられます。冠動脈が狭窄・閉塞してしまう原因のほとんどは動脈硬化です。元々、日本人は粗食な生活習慣だったことから欧米に比して虚血性心疾患の発症

率は低率でしたが、喫煙や食習慣の欧米化（肥満を含みます）等により日本人でも虚血性心疾患の有病率が激増しています。糖尿病・高血圧症・高コレステロール血症・高尿酸血症・喫煙・肥満は動脈硬化を進める危険因子として良く知られています。動脈硬化は老化現象の一つでもあります。最大限の治療を施しても動脈硬化が自然に消失したり血管が広がったりすることはありません。虚血性心疾患の治療は大きく3種類に分けられます。薬物治療、カテーテル治療、バイパス手術です。薬物治療は抗血小板薬・抗高コレステロール血症薬・β遮断薬（高血圧の薬の一種です）が基本で、これらはカテーテル治療やバイパス手術を受けた患者様も服用しなくてはなりません。薬物治療で症状をコントロール出来ない場合や薬物治療のみでは生命予後が規定されてしまう場合には、冠血管再建療法、即ちカテーテル治療やバイパス手術を前向きに検討し

なくてはなりません。労災病院ではバイパス手術は出来ませんが、その分、カテーテル治療を積極的に行っています。冠動脈カテーテル治療は1977年にAndreas Gruentzigがはじめ、臨床的に開始し、術者の経験の積み重ねや器具の改良・開発により、より多くの患者様を治療出来るようになりました。当初はBallon angioplasty（風船治療のみでしたが、Stent・DCA・Rotablator・TECといった風船カテーテル以外の治療器具の開発、血管内超音波法・血管内視鏡等の各種画像診断法の開発等により合併症なく治療を終えられること、即ち初期成功率は大きく向上しました。労災病院では、国が定めた施設基準からRotablatorを行うことは出来ませんが、それ以外の治療器具とありとあらゆるテクニックを日常的に用いて患者様を治療しています。しかし、カテーテル

治療の最大の弱点に再狭窄があります。せっかく治療して血管内腔を広げても数ヶ月後に、また狭くなってしまふことがあるのです。その頻度は個々の患者様の背景（糖尿病の患者様は再発しやすいです）や治療部位の血管の状態によって異なりますが、概ね20%から40%の割合で再発してしまいます。しかし、この弱点は打破すべく新しい治療器具が開発されました。薬物溶出ステントといいますが、従来のStentは血管内腔を支えるための構造物316L Stainless steel製の金網の筒ですが、この表面に動脈硬化の再発を防ぐための薬が塗布されていて、血管壁へ浸透するような構造になっています。使用法に少なからぬ技術を要しますが、この器具を使うことで、これまではバイパス手術の絶対適応（カテーテルで治療してはいけない）と言われていた重症な病気を治療することが可能になりました。バイパス手術な

ら長期の入院を要する病気を、労災病院ではカテーテル治療で数日の入院期間で治療出来ています。ですが、このような治療を受けずに済むことが一番です。高血圧症・高コレステロール血症・糖尿病をお持ちの皆様、しっかりと食事制限して下さい。煙草をたしなむ習慣を、お持ちの皆様、ぜひ、禁煙しましょう。動脈硬化は密かに進みます。カテーテル治療やバイパス手術を受けずに済むことが何より大切なことです。

「かわらばん」の「夏号」が「秋号」になってしまいました。すみません。年内に「冬号」を出したいと思っています。

中央検査科 遊 佐 純 教

放射線科 高 藤 浩 一

清原・ローズの退団より、元木選手の引退がショックです。

リハビリ科 田 口 暢 秀

今年の夏は暑かったな。コンサドーレよ、もっと熱くなれ。

薬剤部 梶 原 徹

今年はサンマが豊漁で、美味しいサンマを沢山食べる事が出来ました。秋の恵みに感謝!!

看護部 深 瀬 光 枝

今年の夏は地球温暖化の影響で、いつもより暑く感じました。私達の地球が長持ちするように、大切に使いましょう。

神経内科 津 坂 和 文

かわらばん発行の遅れましたこと、大変申し訳ありません。今後とも宜しくお願い致します。

編集後記

内部業績評価について



事務局長 吉 岡 勝 則

平成16年4月から労災病院は独立行政法人労働者健康福祉機構の一員として新しいスタートを切りました。表面上は何も変わっていないようにおもわれるかもしれませんが、大きく違うことがあります。それは、独立行政法人として、法律により中期目標・中期計画が示され、毎年、業績評価されることになったことです。さらに、中期目標期間終了後の平成20年度において、労災病院の業務実績が評価されその存続が決められることになりました。

以前の労災病院と一番違う点は、「評価」されるということで、労災病院が行う業務運営に関して「自主性」が認められる一方で、業務内容について説明責任が求められ、その業務実績について第三者（独立行政法人評価委員会）から評価を受けることとなったことです。

さて、労災病院の使命（ミッション）は何か。一言で言うなら「勤労者医療を提供する」ということです。勤労＝職業というフィルターを通して医療に貢献することで、健康と福祉の増進に寄与することが労災病院のミッションといえます。

そのため、勤労者医療総合センターを組織し、予防医療、リハビリテーション医療あるいは労災疾病研究などの役割を行っていく必要があります。さらに、地域の中核的な医療機関として安全で質の高い医療を提供することが求められ、釧路支庁（1市8町1村 人口267,339人）、根室支庁（1市4町 85,150人）〔平成17年7月時点〕の地域の皆様から信頼される病院でありつづけるために、経営基盤の確立を目指す努力をしなければなりません。

このような背景の中で、労災病院としての基本的な目標を確実に達成するために、また、常に業務の改善を図っていくために内部業績評価制度（BSC）を導入することといたしました。この評価制度は、第三者の評価を受ける前に自ら評価・分析し改善していくとするものです。

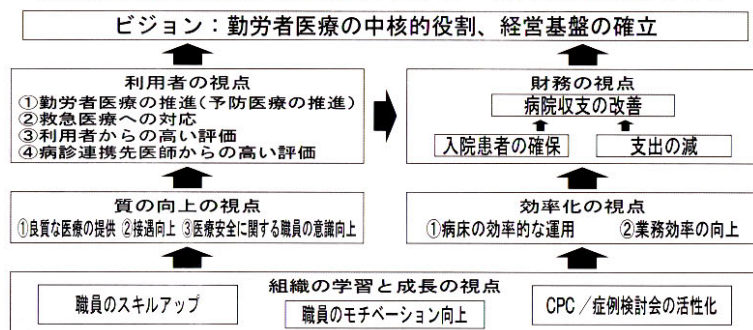
BSCの基本構造は、「利用者（患者）」、「財務」、「質の向上」、「効率化」、及び「学習と成長」の5つの「視点」に基づいて、各部署で「重要成功要因」となる事項を決め、それを数値で示される「評価指標」を選んで行動計画を作ることになります。

各診療科、薬剤部、看護部、検査部、放射線部、リハビリテーション部さらに事務局は、病院の基本的方向に基づきそれぞれの部署の基本的方向を策定して目標達成に向けて行動することになりました。また、職員一人一人は所属する部署の目標を各自の行動指針として意識して業務に専念する必要があります。

5つの視点はそれぞれ戦略マップ上で関連付け（連鎖）られています。（戦略マップ参照）連鎖は、たとえば、病院の収益を上げる（財務の視点）ためには、患者様を満足させ、信頼を得る（患者の視点）必要があります。そのためには、インフォームドコンセント、苦情対応、待遇の向上など業務プロセスを常に改善し、質の高い医療サービスを提供する（質の向上の視点・効率化の視点）必要があります。そのためには職員の専門的スキル、モチベーションなどを高める人材育成の制度が必要となるわけです。（学習と成長の視点）

この内部業績評価（BSC）は、病院の基本理念を反映しているものであり、患者様の視点で親切な対応、わかりやすい説明の実践でもありますので、常に患者様から評価されているという意識で業務に専念したいと思っています。

釧路労災病院（勤労者医療総合センターを含む）の戦略マップ



かわらばん発行の遅れましたこと、大変申し訳ありません。今後とも宜しくお願い致します。

神経内科 津 坂 和 文

今年の夏は地球温暖化の影響で、いつもより暑く感じました。私達の地球が長持ちするように、大切に使いましょう。

看護部 深 瀬 光 枝

今年の夏は暑かったな。コンサドーレよ、もっと熱くなれ。

薬剤部 梶 原 徹

今年はサンマが豊漁で、美味しいサンマを沢山食べる事が出来ました。秋の恵みに感謝!!

リハビリ科 田 口 暢 秀

清原・ローズの退団より、元木選手の引退がショックです。

放射線科 高 藤 浩 一

中央検査科 遊 佐 純 教